

中央教育審議会生涯学習分科会 「学校地域協働部会」
第五回 学校と地域をつなぐ人材配置の在り方

学校と地域や企業との連携における
教育支援団体の役割について

2015年8月11日

株式会社キャリアリンク
代表取締役 若江 真紀

公教育支援に特化した株式会社組織



自己資本による責任範囲を明確にした事業運営
スピーディな意思決定とタイムリーな事業展開

<創業後の事業変遷>

- 1990～ 家庭教育での英語・コンピュータ教育事業
- 1995～ 教育コンサルティング事業（企業向け）
- 2000～ 委託研究・教員研修事業（国・自治体）

教育コンサルタント（我社）の役割



子どもたちが生涯にわたって必要とされる
知識・技能を習得できる授業の実施を実現
キャリア教育を支援

学校教育支援を行う企業・団体の社員の
企業市民としてのキャリア開発につなげる
〈生涯学習〉

学校教育支援を行う企業・団体の20年の動向

- 学習指導要領改訂
- ・ 生きる力の再定義
- ・ 基礎・基本の充実
- ・ 思考力・判断力・表現力の強化

2008年

- 学習指導要領改訂
- ・ 総合的な学習の時間の導入
- ・ 週休2日制

1998年

1995

企業と連携した
教育支援活動スタート期

2000

企業の教育支援活動増加期

2005

大企業や地域密着型企业による
教育支援活動拡大期

2010

教育的効果を求める質の高い
教育支援活動選別・評価期

2015

教育的効果×企業人材育成
CSRからCSVへの移行期

キャリア教育プログラム開発推進コンソーシアムがめざすもの

教育CSR（企業の社会的責任）

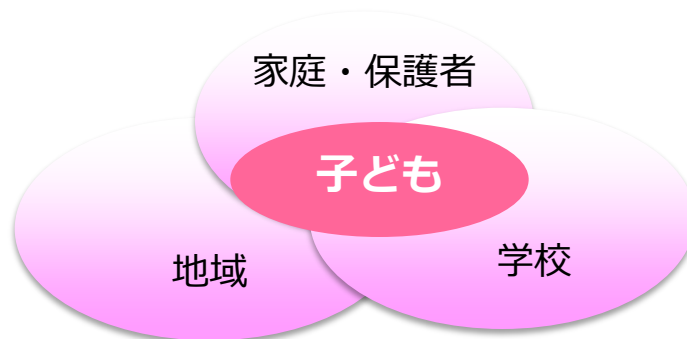
CSV（Creating Shared Value）
企業が社会と共有できる価値の創出

社会のための
次世代育成



新しい視点で学びを考える

教育現場にとって魅力ある
効果的な教育支援



企業を支える
人材育成



学校現場が期待する企業・団体の教育支援

1. 教科教育と関連付けた発展的な内容の授業
2. 学習内容と社会とのつながりを具体的に実感させる授業
3. 実際の現場で使われている生きた素材と触れる授業
4. 専門的な知識で、子どもの疑問に答えることができる授業
5. 知識提供だけでなく、企業人としての生き方に触れる授業

- 社会・企業の【今と未来】や【専門や本物】に触れる
- 教科・単元の学びと社会のつながりを知る
- 自身の将来や必要な能力について意識する

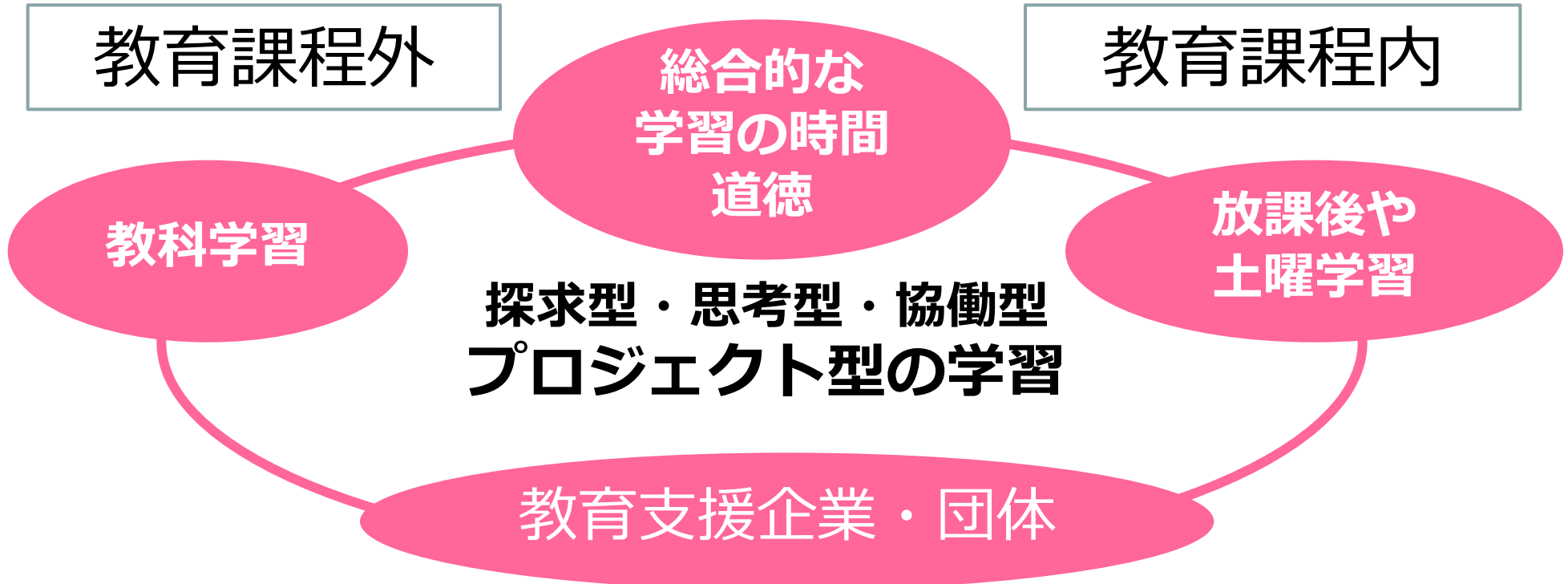
学校現場に普及させたい企業・団体の教育支援

1. 身近な社会のテーマを題材にした授業
2. 実社会の情報が組み込まれたタイムリーな授業
3. 協働スキル育成のためのプロジェクト型の授業
4. 自身の考えを構築、発信する社会課題解決提案型の授業
5. 未来に興味や関心をもてる授業

- 学びの必要性や楽しさを理解する
- 能動的に自身の将来や必要な能力について考える

アクティブ・ラーニング

教育コンサルタントの役割



**教育のパラダイムシフトを
多様なターゲットに説き、つなぎ、実践に導く**

- 首長
- 教育長
- 教育委員会組織
- 校長
- 教職員
- 保護者
- 地域人材
- 企業・団体

コミュニティスクール・学校支援地域本部を支えるしくみ

教育のパラダイムシフトについての 共通認識の醸成と役割理解に基づく明確な方向性の共有

